

## 自由記載のご意見

### 1 国の定める受入基準について

#### ○緩くてもよい

- ・想定以上の基準をもうける必要はない
- ・数値にあまりとらわれない方がよいと思います
- ・厳しすぎる

#### ○国の基準への不信

- ・国の基準は全く根拠がない
- ・国は都合の良い数字を出しているので、もっときびしい数字にしてもらいたい
- ・国の放射能への危機レベルが米国に比較すると余りにも低すぎるように思う
- ・あまりにも数値がちがうから、国の基準に疑問

#### ○この基準でよいかかわからない

- ・本当に安全なのか
- ・基準数値と人体への影響が分らない
- ・世界で見て日本の基準はどのくらいなのか
- ・濃度が低いから人体に関係ないとは言い切れない
- ・原発施設のない地域での放射性物質の濃度はどれくらいなのか？

#### ○その他要望・提案・質問等

- ・継続的測定を続け、公開すべき
- ・常に専門家を交えて研究して下さい
- ・海外等の信頼のおける機関に証明してもらうのも一つ
- ・原発補助金をもらっている市町村で処理すべき
- ・将来健康被害が確認された場合は、国に責任を取ってもらいたい
- ・8-1検査結果一覧の中で、熔融施設処理飛灰のセシウム合計値258Bq/kg と高くなっていますがいいのですか？

### 2 国の定める処理の方法について

#### ○問題ない

- ・安全基準に達しているのなら、一般ごみと同様の扱いでよいと思います

#### ○焼却灰等の埋立てについて

- ・最終処分場はどこですか
- ・最終処分場への埋立てに限界になった場合の対策は
- ・最終処分場の埋立てに関して、立ち合いたい
- ・土層汚染・地下水(井戸水)への影響が心配
- ・供養として焼却までにしてほしい
- ・焼却灰は別にして置いてほしい
- ・処理の手つだいはしても、元の所へもどすのが日本の安全のためだと思う
- ・コストから考えて同地にて埋め立てては？
- ・灰は太平洋にまけば薄まっていいんじゃないか
- ・地盤沈下した地域の埋立てに利用してもよいのでは

#### ○再生利用について

- ・再生利用で今後に影響が出ないか
- ・現在の科学では危険性が認められない物質が、将来認識される可能性もあり、想定範囲外の事態に備えるためには再利用しないことが必要
- ・再生利用はもう少し研究が進んでからでも良いのでは
- ・再生利用する場合、試験的に利用してその後の経過を注意深く観察し、新たな汚染源にならないようにする
- ・再利用すると再利用先の特定が困難となる
- ・念のため、住宅などの同じ人が長時間利用するものへの再利用はさけるべき。公共施設などの居住しないものへの利用は問題ないとする
- ・屋外使用の製品として再生利用してほしい
- ・学校や病院等には再生利用してほしい
- ・再生利用は反対
- ・何かあったときのリスクを負う必要はない
- ・製品として広く流通するなら、十分な注意と説明を
- ・スラグ状にしたものを穴にそのまま埋めるのか又シート・コンクリートで固めて埋めるのか
- ・放射性物質濃度が下限値を切るまでは隔離した方が良い

#### ○その他要望・提案・質問等

- ・これらの方法のメリット、デメリットを広く周知させて欲しい
- ・何が今後予想される問題なのかを示して欲しい
- ・一般ゴミと一緒に焼却しないでほしい
- ・政令指定都市なのだから、市民に責任ある処理基準を設けて独自で判断すべき
- ・毎回処理終了時(焼却毎)に測定を行う必要があると考えます
- ・全国に拡散せず、なるべく地元で施設を新しく作ってもやる

- ・危険物を移動する必要はない。岩手県民を移動させた方が良い

### 3 国の定める安全性の確認方法について

#### ○簡易でもよい

- ・もっと簡易な測定でも充分
- ・二次被害の拡散の心配がないのがわかっているなら手続きを簡素化し迅速にすべし
- ・何度もやっても意味がない
- ・十分すぎる。費用もかかる、時間もかかる、処分がすまない

#### ○測定頻度を上げてほしい

- ・頻度をもっと上げるべき
- ・月1回の測定では不安(その時たまたま少ないということもあれえるということはないか)
- ・最低月2回は絶対行うこと
- ・せめて週1回
- ・受入側は焼却処理中は毎日測定
- ・連続的にモニタリングすることはできないのか
- ・毎時測定・公表ぐらいしないと不安
- ・WEB カメラ+測定値を常時監視を行い、上限を超えた場合には警報を発報。市役所等にモニターを設置及びインターネットにて市民が確認できるシステムが必要

#### ○測定への要望

- ・回数は多い方がよいが、「適当」になることにもつながる。毎回きちんと測定「できる」ならよい
- ・確認項目も増すこと
- ・複数の場所、色々な気象状況下でも測定して頂きたい
- ・測定位置も地面10cm、50cm、1m、と1日数回、何日も測定すべき
- ・日本の科学力を駆使して徹底的に調べて欲しい
- ・濃度も幅があることが予想されるので、搬出側の確認を盲目的に信ずるべきでない
- ・今の安全性は確認出来ていると思いますが、これから先の事も考えて下さい
- ・全ての測定頻度が○回程度となっている所が不安。必ず行う回数で示してほしい
- ・埋立後の安全性の確認を重視していただきたい
- ・下水処理場及び麻機遊水地周辺への継続的調査が必要だと思われる
- ・市独自の+αを追加した頻度や方法も期待したい

#### ○安全性への疑問

- ・もともと線量の高い地域で測定比較されては、高線量の廃棄物が当市へ搬入されては困

る

- ・日本国の基準は緩すぎる
- ・現状において安全性が確認できる訳ではない!!影響はこれから出てくるものであり、安全性は確認できないことが明らかである

#### ○その他要望・提案・質問等

- ・情報は正確に分かりやすく出して頂きたい
- ・測定のと度、積極的な情報公開を
- ・測定はいつまで続けるのか。埋立て施設に関してどうなっているか詳しく知りたい
- ・数値が上がった場合どうするのですか？
- ・岩手県との協定の3項目は静岡県が測定していたが、引き続き県がやるのか。静岡市のチェックはどうするのか。
- ・基準値の算出はどのような基準ですか？
- ・書類に残す

#### 4 岩手県と静岡県が締結した協定で定める基準について

##### ○緩くてもよい

- ・静岡市は厳しすぎ
- ・もう少し緩くすればもっと多く受け入れ出きると思う
- ・厳しい数値設定をして、結果、受け入れができなくなるようでは災害地に対して冷やかしにすぎない

##### ○安全性への疑問

- ・周辺環境の3倍は高い
- ・被害を拡げないためにも受入れは拒否したほうが良い
- ・アスベスト・ヒ素・六価クロム・PCB については？
- ・がれきを運ぶ人とか、処理する人が大丈夫か心配
- ・数年間吸い続けた場合の影響などがわからない
- ・アルファ線、ベータ線はどうなっているのか？

##### ○その他要望・提案・質問等

- ・岩手県に限らず東北全域の為に動くべきでは
- ・もっと基準をきびしくすること
- ・しっかりした測定方法と新聞発表を
- ・常に最新の医学的情報を基に基準を見直していく姿勢をもつことが大切である
- ・いくら基準をつくっても根拠がないものであり、問題が出れば国が言ったからとかで責任

を転化するつもりなのでしょうか

- ・基準を超えたものが入ってきた場合の対処方法は？
- ・国と協定の基準の違いは何でしょう？

## 5 自由記述

○基準を緩めてもよいのでは

- ・基準値も全て厳し過ぎる
- ・受入基準内のガレキなら、直接埋立てもよいのでは
- ・2町に限定せず大くの町、県の災害廃棄物を受入れて処理すべきと思う。又、種類も限定すべきでは無いと思う。
- ・国の基準まで緩めてもよいのでは。焼却灰を国会議事堂の周辺に埋め立ててみては。壁に塗るのもいかが？
- ・度々の検査は必要ないと思う
- ・多少のコンクリート片などがあっても放射線量が基準値以下であれば受入れ一時中止などの処置は行わないで下さい

○反対者の理解を得るために

- ・反対者に対しては反対理由をしっかりと分析し、反対者毎に適切な対応を図ること
- ・放射線量の数値を、どれ位の値がどのような危険があるのかを具体的に示すことが必要。また、通常の社会生活における放射線がどれ位なのかも、お年寄りから子供までわかるように教示することが大事
- ・病院等放射性物質を保管使用している施設の測定値を公表すべき

○確認、管理をしっかりと

- ・基準値を下回る数値だけにとらわれずに、慎重に十分な安全性への立証をおこたる事なく
- ・受入側のチェック体制を確立し主体性をもって
- ・受入れにはきびしい基準をして、監視もきびしくして頂きたい
- ・放射線量の測定は第三者にて実施する
- ・質量収支のチェックが必要
- ・焼却後の発生物の管理を徹底し、将来不都合が生じた場合にも速やかな対応がとれるようしておくべき
- ・常に責任と緊張感をもって作業していただければいいです
- ・風評がたたないように、注意、努力してくれば問題は起きないと思う

○安全を守ってほしい

- ・信用ができる人達の確認が一番欲しいところ
- ・国の安全基準が本当に長期にわたって安全性が確保されているのか十分に検討して受入基準を設定して
- ・専門家が介入した基準に基づく測定と結果の情報開示を行って頂きたい
- ・子供への影響は十分に考えて
- ・測定を頻繁にして、市民の安全を守っていただきたい

#### ○情報の開示を

- ・何らかの問題が起きた時に、その情報を隠してしまったりせず、明らかにしてほしい
- ・十分な説明責任を
- ・受入れがよかったのか結果がでるのは何十年から何百年先です。それまで隠し事なくすべて記録し、検証して将来に活かして下さい
- ・焼却を行なわなかった場合は他県に放射性物質がどのような影響を与えるのか詳しく説明を行ってほしいと思います
- ・基準などを私達に分かるように設定、説明してほしい
- ・原発事故の前と後の数値、静岡市葵区での数値を比較してどうなのか。その比較値を公表すべき

#### ○受入れ時には

- ・廃棄物等を焼却場に運び込むさい、交通事故、渋滞等近隣の住民に迷惑をかけないように充分配慮願いたい
- ・焼却灰は送り返せないものか
- ・安全性確保のため、焼却灰は屋根のある倉庫等へ保管する等検討されたい
- ・どこの場所にどの位、どんな廃棄物を埋立てたか明記(看板)して下さい

#### ○問題があったら

- ・想定外は論外
- ・万が一体の不調を訴えた場合、国が保障してもらえ事を約束してもらいたい、少しでも安心させてほしい
- ・何かあったときに保証してほしい
- ・問題が発生した時は、全部取りやめ、すべての住民に保証して欲しい。月日が立つと忘れて余い考えにならない様お願いし、放射性物質濃度を何度も検査して欲しい
- ・「安全の確認方法」ではなく「問題は起こりうる」のでその後の対策方法をおしえて下さい
- ・市民に影響が出たときに、市としてどのような責任をとるのですか

#### ○受入れ反対意見

- ・国の施策に不信がある
- ・本当に安全かどうか不明確
- ・放射線は少なくとも良くない。体に溜まっていき、外に出ません。体の細胞を破壊します
- ・燃やしても放射能は無くならないし、拡散するだけ
- ・なぜ空間線量なのですか？ゲルマニウム半導体計測器の分析は？なぜセシウムのみなのですか？プロトニウム・ストロンチウムは？放射性廃棄物は拡散してはいけない(希釈禁止の原則)国際的合意に反する行為では？
- ・市民の意見を聞かずに受け入れを勝手に決定したのは理解に苦しむ
- ・莫大な運搬費が気になる。被災地で施設を作り、処理を同時進行させれば雇用も生まれる
- ・地産地消、運賃が掛る、道路の混雑 受入反対
- ・国有地で処理すべき
- ・災害廃棄物焼却のお金で、浜岡原発などの対策を行ってほしい
- ・東電の立場があいまいになっており、責任転嫁しているように思う

#### ○その他要望・提案・質問等

- ・一過性の政策はどうかと思う
- ・政治的に利用されては困る
- ・「受け入れ」を反対する側からのデータの提示、意見等を参考にして判断したい
- ・「防災林の造成に再利用」多いに推めてもらいたい
- ・業者の癒着はないのか？
- ・国の基準に頼らず、独自の調査はしているのか
- ・基準値を越えた場合のアナウンスと処置はどうするのか
- ・焼却灰等の放射能濃度8000Bq/kgとNDの間の値が出た時の市の対応は
- ・岩手のガレキトンあたり6万3千円の使い道は？
- ・どれだけ沢山の化石燃料を購入してもやすのか
- ・関東地方の焼却場での灰の扱いが、以前テレビで報道されたがその後の報道を聞かない。市に情報があれば公報で

#### ○アンケート内容から外れた意見

- ・災害が発生した後の復旧に必要な施設等の確保、他県との連携もすすめてもいいと思います
- ・今のうちから(災害が)もし起った場合、スムーズに対応出来る廃棄物処理方法に取組んで頂きたい
- ・災害時の通信方法を考えてほしい
- ・浜岡ではこんなことが起きないようにくれぐれもたのみます

- ・脱原発です。使用済燃料棒の最終処理法は？
- ・放射線量を測る機械を全小中学校に配布してほしい
- ・財団法人放射線計測協会(科学技術庁)たしか平成4～5年高校向のパンフがでている
- ・清水区にもゴミ処理場を建設して、葵区にゴミを持ち込むなど言いたい
- ・アンケートの集計後の速やかな報告と静岡市がとる姿勢を明確にして下さい